



▲門前に人力車が見え、客待ちの車夫が見える

鴨江に豪華な青楼「二葉園」

●浜松市中区鴨江町の高台に、不夜城とうたわれた青楼「二葉園」がありました。●青楼（遊郭）は、大正時代まで東海道筋の伝馬町や旅籠町にありましたが、市勢の発展とともに別の場所に移転する方針が出されて鴨江に集団移転。大正11年のことでした。●移転に伴い、元浜町や伊場町などからも誘致の動きがありましたが、鴨江に決まったもので、建物はいずれも玄関に破風がついていました。●豪華なものは、東京の吉原より立派といわれました。●写真は昭和初めに写したもので、道の中央に桜並木がつくられ、両側に店が並んでいたことが分かります。●昭和33年、法律によって青楼は閉鎖されましたが、今は旅館や料理店などに転向して商いが行なわれています。（資料提供©神谷昌志）

おいしいをつくりましょ。



JAとびあ浜松